

花結日（令和8年2月21日）応募俳句



甲南賞

選評 ホトトギス主宰 稲畑 廣太郎 氏

岡本に うぐひすの声 絶え間なく 大磯 眞一 様

甲南大学のある岡本に響く鶯の声が誇らしく聞こえる。

甲南の 縁に集ふ 梅日和 玉手 のり子 様

甲南学園にかかわるすべての人の縁の深さが梅を通して描かれている。

梅の香で 岡本、淡路 結ばれる 宮地 加織 様

震災の記憶も想像出来、梅に託した心境が見て取れる。

甲南 × 岡本



花 結 日

花開萬国春・はなひらくばんこくのはる



花結日賞

梅が香の 風に小鼓 響く園

柄川 武子 様

梅の香りと小鼓の音が風に乗って調和する姿が美しい。

梅林や かの秀吉も 愛でしとや 田附 光映 様

秀吉の時代にまで遡る梅林の歴史の重みを感じる。

観梅や 今年は二人 空青し 曾谷 はなこ 様

去年は一人だった観梅も今年は二人になった喜びが伝わってくる。

花 結 日

花開萬国春・はなひらくばんこくのはる

瀬戸内の 光あつめて 梅の宴

関口 一 美 様

風光明媚な瀬戸内の景色と梅との対比が輝くように表現されている。

梅の香の 満つる 天皇誕生日

丸山 加代子 様

令和の天皇誕生日が季節感たっぷりに表現されている。

満開の 梅に宿りし わが想ひ

匿名希望

満開の梅に心を託している作者の心持が伝わってくる。

鼓の音 元禄の世に 梅の苑

南波 喜久子 様

能楽の歴史の重さが鼓の音から伝わってくる。

花 結 日

花開萬国春・はなひらくばんこくのはる

鼓の音澄みて六甲山笑ふ

高橋 純子 様

鼓の音によって聞こえてくる六甲山の胎動が明るく伝わってくる。

国宝の 小鼓の音や 梅日和 武藤 優子 様

大倉源次郎氏の鼓の国宝の音色が明るく伝わってくる。

鼓の音 聞こゆる梅の 野点席 辻田 智子 様

鼓の音が心地良く響く野点席のゴージャスな空間。